

ひよこ子ども食堂

インタビュー 代表者：林 正則

吉備学区情報

世帯数

8,197 世帯

人口

19,079 人

高齢化率

23.8%

■活動のきっかけ

新聞やテレビ等のメディアで子どもの貧困が取り上げられており、子ども食堂の存在を知りました。自分が住んでいる地域にもそのような活動があったら良いなと思ったのがきっかけです。

また、ひとり親家庭の知り合いから、一人で子育てをするのは大変だと聞きました。特に、料理は栄養面等を考えるのが難しいという話を聞いて、自分の中で子ども食堂についての意識が高まっていたこともあり、地域にまだないのなら自分で作ったらいいのではないかと思立ち、平成29年から活動を始めました。

開催に伴い、自宅を改築し、2階に台所をつくり、子どもの居場所として開放しました。多くの子どもたちに利用してもらいたいという思いがあり参加対象者を絞っていません。また、活動を継続する中で、運営スタッフに、夜間中学校の教員がいたため、宿題も見てもらおうということになり学習支援も行うようになりました。



■活動内容

①ひよこ子ども食堂の開催

- ・地域の子どもから高齢者まで幅広い世代が交流をもてる場
- ・季節のイベントとして、流しそうめんやスイカ割りなどの開催

②学習支援

- ・毎週日曜日の夕方に開催

■活動の効果

活動を始めた当初は利用する人も少なかったのですが、公民館にチラシを貼らせてもらったり、利用した人たちの口コミにより、利用する人が徐々に増えていきました。また、子どもたちだけでなく近所のおばあさんも利用してくれるようになり、いきいきサロンのような場になりました。たくさんの方が、楽しそうに話をしたり、食べている姿を見られるのは嬉しいです。今までは、同じ地域といっても顔も知らない人が多かったけれど、地域に住んでいる人同士の繋がりをもつことができるようになりました。

■工夫していること

メニューは、ボランティアが決めています。お肉や野菜などを使って栄養バランスの取れた献立にしています。ご飯ができる待ち時間、子どもたちは本を読んだり、学生ボランティアに紙芝居を読んでもらいながら過ごしています。そうすることにより、地域の子どもと学生との交流ができるようになりました。



■参加対象者

地域の子どもたちを中心に、高齢者、子育て中の親御さん、学生などのさまざまな世代が利用対象。ボランティアとして活動する人も幅広い世代が対象。

■場所・開催時間・利用料金

- ・活動場所：個人宅

- ・開催時間：毎月第2土曜日 11時～13時
 - ・利用料金：15歳以下は無料
16歳以上は300円
(現在、コロナ禍のため、弁当提供。料金は15歳以下は無料で16歳以上は200円)
- ※事前予約必要



■ひと

構成スタッフ：近隣住民、学生ボランティア、協力企業・団体



■運営費

収入・参加費

- ・赤い羽根共同募金の助成金
- ・各種助成金

支出・食材費

- ・物品購入費

■ネットワーク

町内会/公民館/協力企業・団体/岡山市社会福祉協議会

■苦労した、苦労していること

活動を始めた当初、どのようにPRしたら良いのか、どうやって活動したら良いのかがわかりま

せんでした。子ども食堂を開いても利用する人がいないと意味がないので、初めは知人や学童保育に声をかけました。利用者の口コミや公民館でチラシを貼ることにより、地域の人に活動が広まり自然と利用する人が増えました。

また、公民館講座で一緒になった人にこれから始める活動についての趣旨説明を行い、活動者を募りました。活動を行っていくうちに活動者が活動者を呼んでくれ、今では多くのボランティアに活動を支えてもらっています。

これからも、子ども食堂を続けられるように継続して一緒に活動してくれる人を増やしていきたいです。

■今後取り組もうとする方に伝えたいこと

地域で活動するのは、根気がいることです。しかし、活動を始めたいと思ったその時が活動を始めるタイミングです。また、これから活動を始める人は、楽しみながら活動を行ってほしいです。無理やりになってしまうと、長くは続かないです。楽しみながら、長く続けられるよう取り組んでもらいたいです。

■今後の展望

子どもが中心の居場所ですが、例えば定年退職して地域と交流がない人や引きこもりがちの人が気軽に立ち寄れるような居場所になればいいと思っています。

また、コロナ禍の中、思うように活動ができず交流も以前に比べ少なくなりました。この状況が落ち着いたら、また以前のように食堂ができる場や季節のイベント等みんなで一緒になってできることを開催できたら良いと思います。

